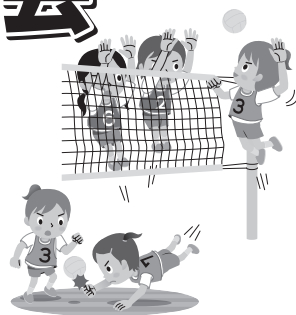




世帯数 6,191戸
人口 13,776人
(令和5.9.1現在)

7月2日開催 第76回 寿地区 球技大会



本年5月に、コロナウイルスの感染法上の位置づけが「5類」に変更された後のこの大会は、昨年と同様に町会ごとに参加できる種目にエントリーし、総合開会式、総合順位づけ、表彰式は行いませんでした。

ソフトバレー39歳以下のチームが昨年より1チーム減りました。新卓球のチームも1チーム減りました。これも時代の流れでしょうか？
大会を開催するにあたり、様々な工夫や対策を施し、規模が縮小されたとはいえ、開催できたことは良かったと思います。

また、残念ながら、いずれの種目にもエントリーできなかった町会が4町会ありました。昨年は1チーム参加があった合同チームは今回はありませんでした。

今回は、野球が中止され、昨年まで、野球の会場だった、内田運動広場でソフトボールが行われ、選手層含め、試合結果もとても充実していました。

【館報編集委員 清水 壽雄】



ソフトボール	
1	百瀬町会
2	白川町会
3	小池町会
4	竹瀝町会
3	上瀬黒町会
4	寿田町町会

ソフトバレーボール(40歳以上)	
1	小池町会
2	竹瀝町会
3	下瀬黒町会
4	寿田川町会

ソフトバレーボール(39歳以下)	
1	竹瀝町会
2	上瀬黒町会
3	百瀬町会
4	下瀬黒町会

【野球】参加町会がなかったため中止



新卓球	
1	百瀬町会
2	竹瀝町会
3	小池町会
4	寿田川町会

排球	
1	百瀬町会
2	小池町会

わがまちよつといで広場

「よつといで広場」とは、松本市地域自治支援交付金を受けて始めた多世代交流の場です。上瀬黒町会では令和4年度からこの事業を始めました。子供の体験学習を中心に、子ども子育て世代・高齢者世代の3世代が一緒に活動できる場を作ったり、町会住民の経験を活かして、技術や文化を子どもたちに伝え、活動を通して、住民が集い語り合うことが主な目的です。

西澤仁美代表が友人などに声をかけ、有志5人で活動を始めました。令和5年度第1回は「ベビーのヘアカットを教わろう」をテーマに寿地区で理髪店を経営する片桐博人理容師を講師に迎え、カットを嫌がる子どもへの対応や技術を教わりました。この日は8か月と1歳10か月のお子さんがカットモデルになり、父親や母親の膝に座り実際にヘアカットをしながら、レザーや櫛、すきバサミなどの使い方の説明を受け、カットを嫌がったり、じっとしていられない小さな子どもでも安全にかつよく(かわいく)整える方法を教わりました。また実際にお母さんがお子さんのカットを体験しました。周囲ではおばあちゃん世代の方々も技を学びながら、カットに退屈してきた子どもに声をかけあやしていました。

昨年度は年3回開催され、夏休み

中に「子どもたちの夏休みの居場所づくりと生活体験」として学習支援をした後、昔のおやつ(うす焼き)作りをしたり、秋には「かまどでご飯を炊いておにぎりを作ろう」米のどぎ方、水の分量、竈の使い方、火の付け方等の体験、師走には「わらを使うて玄関飾りを作ろう」稲わらの有効活用、正月飾りの意義の学習や作り方の体験をしました。

今年度は昨年度より多くの5回開催を計画しており、8月20日にはPTA・スポーツ協会と共に夏祭りを行いました。その後も「タイルを使って鍋敷き作り」「わらを使った玄関飾り」「入園グッズ作りの応援」が予定されています。

地域では少子高齢化、核家族化などが進み多世代間の交流が難しくなっています。このような活動を通して地域の文化や技術の継承、交流の場だけでなく、日ごろから顔の見える関係づくりにつなげ孤立を防ぎ、共助の町会作りにつなげることが期待されます。



【館報編集委員 橋倉 理恵】

小池町会夏祭り

小池町会納涼祭が、8月14日に小池公民館にて開催されました。「竹洲まつりばやし保存会」による太鼓演奏の披露、綿あめ・フランクフルト・ヨーヨー釣り等の緑日屋台、小池音頭・松本ほんぼん等の盆踊り、ビンゴ大会で楽しめました。



【館報編集委員 清水 壽雄】

竹洲町会夏祭り

8月6日(日)竹洲町会の夏祭りが開催されました。コロナ禍後であり熱中症警戒アラート発令の中での開催となりましたが、多くの皆さんの参加をいただきました。家族の転勤等で松本(寿)に引越してきた、そもそも青山様つなになにというお子さん向けにみこしの展示と簡単な説明会が行われ、会場をみこしを担いで回ってみるなど、盛り上がりしました。



【館報編集委員 上平 貴明】



2023夏祭り

白川町会夏祭り

納涼夏まつり開催!!
昨年に続き今年もお盆の14日に納涼夏祭りが開催されました。子供たちが楽しめるイベント、わくわく釣り大会や射的、コムハウスやコトブキプロケッツの販売ブースや各種屋台が出店しました。夕刻からは白川ギター倶楽部による演奏を聴きながら、生ビールとおつまみを楽しみながら楽しい時間を過ごしました。



【館報編集委員 百瀬 清司】

寿田町会夏祭り

サマーフェスティバル開催
寿田町では8月11日(日)の公民館を主会場に、マルシェ(手作り品販売)、子ども縁日、青山様・ほんぼん、納涼祭の四部構成でサマーフェスティバルを行いました。子どもと大人およそ100名が2グループに分かれて、約20分町内を練り歩きました。平成13年頃に途切れた松本ほんぼんの歌声が町内に戻ってきました。男子は法被を着て神輿を担ぎ、女子は浴衣で手に提灯を下げて歩くその姿は、何とも可愛らしくとても輝いていました。



【館報編集委員 林 純一】

楽しいエルダー体験&交流会

8月25日午後、寿地区福祉ひろばで開催された、「楽しいエルダー 体験&交流会」に参加してきました。

松本35地区の福祉ひろばに設置されている「生活総合機能改善機器・フリーダム」という機械を使い、そこにインストールされている750種類以上のソフトを、見たり聞いたりしながら、楽しく体を動かし、声を出し、体幹や声を鍛える運動をします。

最後は、ビンゴゲームで交流を図りました。



フレイルとは、健康と要介護の中間の時期を言います。フレイル予防は、栄養・運動・社会参加(趣味・ボランティア)の3つの柱が影響しています。社会参加の一つとして、この講座に参加してみても如何でしょうか?

【館報編集委員 清水 壽雄】